

## 幼児教育職教育カリキュラムの予備的考察 大韓民国市立仁川専門大学要覧を中心に

山中 文

音楽科教育

A Preliminary Research on Curriculum of Early Childhood Education Department in Incheon City College, Korea

Aya YAMANAKA

(2001年11月1日受理)

本稿では、大韓民国仁川市の市立仁川専門大学要覧における幼児教育科カリキュラムを紹介し、考察を行う。要覧は、一部を除いてすべてハングル文字で書かれているため、翻訳を行った。

周知のように、現在我が国では、少子化による受験人口の減少、国立大学の独立行政法人化など、大学の存亡に関わる変動が生じており、全国的に、大学・短大の改組を含めた学生確保が検討されている。

本学も例外ではなく、本年、看護学科では将来構想に関する調査をスタートさせ、幼児教育学科でも将来構想ワーキンググループを中心に学科の将来的見通しを模索中である。特に、幼児教育学科では、このような状況から、他大学の保育士・幼稚園教諭養成校のカリキュラムを検討するべく、収集をはじめている。

本稿は、そのような状況下における予備的なカリキュラム研究として、隣国、大韓民国の公立短大幼児教育学科カリキュラムの一例を紹介するものである。なお、韓国における専門大学は、わが国における2年制の短期大学にあたる。

### 1. 仁川専門大学概要

仁川市は、ソウル市から西方に地下鉄で1時間ほどの距離にある市で、釜山、大邱、光州と並ぶ大韓民国の四直轄市の一つである。本年国際空港がソウル市内から移されたことにより、交通、経済に大きな変化が見られる都市である。市立仁川専門大学は、その仁川駅近くに位置した、全学生数およそ6000人という大規模な専門大学である。

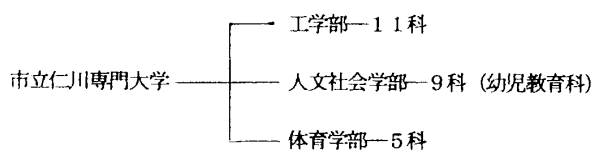
筆者は、本年2001年3月8日、本学三人の教員とともに、同市に設立されている市立仁川専門大

学の人文社会学部・日本語科を訪問した。本稿記載の大学概要やカリキュラムは、訪問時の聞き取りと、その際入手した『市立仁川専門大学要覧(2001)』を主な拠り所としている。要覧は先にも述べたように、すべてハングル文字で記載され、わずかに教科目名のみ括弧づけで英語名が付け加えられている。

さて、この同専門大学は以下のように三学部から成る。幼児教育科は人文社会学部の九学科のうちのひとつである。

同専門大学は、1969年に仁川工業高等専門学校

表 1



として私学開設され、72年には体育学科を増設、75年に仁川工業専門学校、79年に仁川工業専門大学、そして81年に仁川専門大学となり、94年に市立化されたという歴史を持つ。幼児教育科は1984年に新設された科である。

教員組織としては、各学部とも専任教員として教授、副教授、助教授、専任講師を置き、その他に助手枠を設けている。要覧には「教員現況」として各学部の専任教員、助手の配属人数が表で掲載されているが、その各数値が表内の合計数と合わないため、正確な配属人数は不明である。ただし、要覧の別頁に記載されている各科の教員名と最終学歴等の表から、幼児教育学科の専任教員は、教授2名、副教授2名の計4名であることが窺える。その表によれば、専任教員は、以下のよう示されている。(氏名については記載を避けた)

## 2. 市立仁川専門大学幼児教育科カリキュラム

先にあげた当専門大学要覧には、幼児教育科の内容説明として、以下のものが記載されている。

1. 幼児教育科の教育目標、目標の特性、学科の特徴、卒業後進路、教科科目名
2. 幼児教育科の教育課程
3. 幼児教育科の教科目概要（2の教育課程中、専門科目、教職科目の概要を記載している）

以下、この順に沿って訳した内容を掲載し、コメントを付す。(訳した要覧部分については、ゴチック体で示した)

### (1) 幼児教育学科学科目標、目標の特性、学科の特徴、卒業後進路および教科科目名

#### 教育目標

幼児教育学科<sup>1)</sup>は幼児教育の理論と実際に関する知識習得はもちろん、それを強化する現場経験と産業社会における社会福祉的な理解をもとに、地域社会における幼児教育の未来を主導していく、有能な幼児教育機関の教師養成を目標とする。

#### 目標の特性

- 1) 望ましい人性および教師像の確立
  - 一個人の潜在能力を開発し、創造性と道徳性を備えた全人的教師になるための教職および教養教育を実施
- 2) 専門知識と教育技術の涵養
  - 幼児教育に関する哲学的、心理学的、社会的理解のための基礎教育を実施
  - 幼稚園教育課程における五領域の教授法に関する理論と実技教育を実施
- 3) 現場適応能力と実務能力培養
  - 教師養成過程の間に習得した知識を実際的に教育現場に適用するための現場教育を実施
  - 地域社会の幼児教育機関の現況を理解し、その発展に寄与するための現場探求を実施

#### 学科の特徴

幼児教育を担当する教師を養成するのに必要な

表 2

職 級	姓 名	最 終 学 歴	最 終 学 位
教 授	省 略	ソウル女 大学校大学院	文 学 博 士
教 授	省 略	梨花女子 大学校大学院	文 学 博 士
副教授	省 略	米 国 ジョージア 大学	教 育 学 博 士
副教授	省 略	淑 明 女子 大学 大学院	博 士 課 程 修 了

最新の諸般施設が完備されている。地域社会の幼児教育機関を実際に見学させ、教習するように指導する。現場教育実習を徹底的に強化する。

#### 卒業後の進路

所定の課程を履修した者には、教育部から幼稚園2級正教員資格証が授与される。この教員資格証を得て卒業する者は、たいてい幼稚園教諭と「子どもの家」の教師として就業している。または、幼児教育関連の教育機関と研究機関等に就職する。

#### 教科科目

幼児教育概論・幼児発達心理・幼児美術教育・幼児言語教育・幼児科学教育・幼児音楽教育（Ⅰ、Ⅱ）・幼児教育課程・幼児社会教育・幼児教材研究・幼児数学教育・幼児教育機関運営管理・父母教育・モンテッソリー教育・器楽（Ⅰ、Ⅱ）・幼児文学教育・幼児創作工芸・幼児電算プログラム・幼児教育現場実習・伴奏法（Ⅰ、Ⅱ）・リズムおよび身体表現・幼児の遊び・乳幼児プログラム（託児）・幼児健康教育・保育実習・教育学概論・教育社会学・教育哲学および教育史・教科教育論・教材研究および指導法・教育心理学・教育課程および教育評価・教育実習

大韓民国の幼児教育施設には、日本の文部科学省にあたる教育部管轄の「幼稚園」と、厚生労働省にあたる保健福祉部管轄の託児施設とがある。

「幼稚園」は学校制度の中に組み込まれており、現行幼稚園教育課程の内容は、「健康生活」「社会生活」「表現生活」「言語生活」「探求生活」の五領域から成る。上の翻訳部分の「目標特性2」に記載されている「五領域」とは、この現行幼稚園教育課程内容の五領域に相当する。

また、幼稚園教師の資格は、幼稚園正教員2級、1級、園監、園長に区分されている。このうち、1級以上は現職教育によって取得されることになっており、養成機関において資格が取得できるのは2級正教員資格証の方である。

2級正教員資格省の教師養成は、主に、四年制大学の幼児教育関連学科か、専門大学幼児教育学

科で行われる。一方、保育施設で働く「保育教師」の養成は、乳幼児保育や児童福祉関連科目を中心に設定した1年制の機関で行われることになっている。ただし、仁川専門大学では、以下の(2)の教育課程で明らかのように、選択科目に「乳幼児プログラム」や「保育実習」を置いていることから、希望の学生は「保育教師」の資格も取得し得るのではないかと推察できる。

要覽中の「卒業後の進路」で記載されているように、仁川専門大学の幼児教育科は、2級正教員資格証の取得を目的として、幼稚園教諭の養成をめざしていることになる。

#### (2) 教育課程

表3によれば、幼児教育科目総合計単位数は105単位である。しかし、これは選択科目も単位数も合計してあり、卒業必修単位数については不明である。一般的な専門大学における幼児教育学科の卒業必修単位数は80~95単位である<sup>2)</sup>。ちなみに、本学幼児教育学科の卒業要件単位数は75単位である。

なお、表中\*印で示した「6」という数字は、2の間違いであろうと考えられる。

また、「講義」科目は修当時間1時間で1単位としており、「実習」科目は修当時間2時間で1単位としている。これは、本学における「講義」と「演習」科目における「15時間1単位」もしくは「30時間1単位」と同一の考え方と見てよいであろう。ただし、仁川専門大学における「修当時間」の1時間分が、本校における1コマ90分に相当するかどうかは不明である。

#### (3) 幼児教育科の教科目概要（2の教育課程中、専門科目、教職科目の概要を記載している）

(2)で示した表のうち、専門科目、教職科目については、別頁に英語名を付すとともに、概要が記載されている。

以下にその部分を示す。

#### 教科目概要

##### 幼児教育概論

(Introduction to Early Childhood-Education)

表 3

2001学年度

幼児教育科 教育課程

区分	教科 科 名	1 学 年						2 学 年						計		
		1 学期		2 学期		1 学期		2 学期		単 位	修 当 時 間					
		単 位	修 当 時 間	単 位	修 当 時 間	単 位	修 当 時 間	単 位	修 当 時 間							
教 育 類	思想と倫理	2	2											2	2	
	韓国近代史			2	2									2	6*	
	英語講義			2	2									2	6*	
	F L P T													1		
	小 計	2	2		4	4								7	6	
	課 外 活 動	生活とコンピュター													2	2
		哲学概論													2	2
		實用漢文													2	2
		西洋文化史													2	2
		英語講義1													1	2
		英語講義2													1	2
		實用日本語													2	2
		女性学概論													2	2
		實用韓国語													2	2
生活体育														2	2	
小 計													18	16	4	
教 育 類 合 計													25	22	4	
専 攻 科 目	幼児教育概論	3	3											3	3	
	幼児発達心理	3	3											3	3	
	幼児美術教育	2	1	2										2	1	2
	幼児言語教育				3	3								3	3	
	幼児科学教育				3	3								3	3	
	幼児音楽教育I				1		2							1		2
	幼児教育概論							3	3					3	3	
	幼児社会教育							3	3					3	3	
	幼児教材研究							3	3					3	3	
	幼児音楽教育II							2	2					2	2	
	幼児漢字教育									3	3			3	3	
	幼児教育論(実習管理)										2	2		2	2	
	父 母 教 育											2	2	2	2	
	小 計	8	7	2	7	6	2	11	11			7	7	33	31	4
	モンテッソーリ教育	3	3											3	3	
	講 義 I	2	1	2										2	1	2
	幼児文学教育				3	3								3	3	
	幼児創作工芸				2	1	2							2	1	2
	講 義 II				2	1	2							2	1	2
幼児電算プログラム							2	2					2	2		
幼児教育現場実習							2		4				2		4	
幼児電算プログラム							2	2					2	2		
幼児教育現場実習							2		4				2		4	
作 業 法 I							1		2				1		2	
リズム及び身体表現										3	3		3	3		
幼 児 遊 び										3	3		3	3		
乳幼児プログラム(託児)										2	2		2	2		
幼児健康教育										2	2		2	2		
保育実習										2		4	2		4	
作 業 法 II										1		2	1		2	
小 計	5	4	2	7	5	4	5	2	6	13	10	6	30	21	18	
専 攻 科 目 合 計	13	11	4	14	11	6	16	13	6	20	17	6	63	52	22	
教 育 職 員 科 目	教育学概論	2	2											2	2	
	教育社会学	2	2											2	2	
	教育哲学及び教育史				2	2								2	2	
	教科教育論				2	2								2	2	
	教科教材研究及び指導法							3	3					3	3	
	教育心理学							2	2					2	2	
	教育課程及び教育評価										2	2		2	2	
教 育 実 習										2		4	2		4	
小 計	4	4		4	4		5	5		4	2	4	17	15	4	
教 育 職 員 科 目 合 計	13	11	4	14	11	6	16	13	6	20	17	6	63	52	22	
教 職 科 目 合 計	4	4		4	4		5	5		4	2	4	17	15	4	
教 科 目 合 計	17	15	4	18	15	6	21	18	6	24	19	10	105	89	30	

幼児教育の概念及び意義を把握し、現代幼児教育の成立背景を調査し、全般的に韓国と外国の幼児教育を比較観察する。また、幼児教育の目標・内容・方法を研究し、望ましい幼児教育の方向を設定してみる。

#### 幼児発達心理 (Psychology in Early Childhood)

胎児期から児童期に至る人間発達の身体的・認知的過程に関する多くの重要な理論と研究結果に関して議論することで、幼児発達に関する心理学的知識を習得し、このような知識を土台として、教育現場で幼児の行動と要求に適切に反応できる実際的方法に関して研究する。

#### 幼児美術教育

(Arts for Early Childhood-Education)

幼児美術教育に関する正確な理解を土台として幼児教育現場で幼児を正しく指導し、幼児の興味と発達に適合する美術教育課程を構成・運営するために、美術教育の理論と実際を研究し、適用を試みる。

#### 幼児言語教育

(Language Arts for Early Childhood-Education)

幼児の言語習得と言語発達に関する多くの理論を比較分析し、Whole Language Approachに基づいて、効果的な幼児言語教育のための教授実践方法を模索する。

#### 幼児科学教育

(Science for Early Childhood-Education)

幼児の生活周辺で発生するすべての自然現象と事物の物理的相互作用に関する基礎知識を習得し、このような科学的基礎知識を幼児に伝達するための具体的な科学活動に関して探求する。

#### 幼児音楽教育

(Music for Early Childhood-Education)

幼児の音楽的発達のため、必要な音楽教育の内容として、鑑賞・歌唱・合奏・創作的表現に関する理論と現場で活用できる教授方法および実技能

力を修得する。

#### 幼児教育課程

(Program and Curriculum Development in Early Childhood)

幼児教育の哲学的・心理学的・社会学的基礎を調査し、教育課程の実際的な運営のために教育目標および学習内容・教育方法・評価に関して研究する。

#### 幼児社会教育

(Social Studies for Early Childhood-Education)

幼児の基本的な生活習慣、社会科学の概念、民主市民の資質および道徳的人格の発達等に関する理論を修得し、幼稚園現場で幼児の社会性発達を増進させるための指導方法を模索する。

#### 幼児教材研究

(Teaching Material Development for Early Childhood-Education)

幼児教育教師にとって必要となる、教材教授法の理論、教材活用方法および教授教材の制作方法を修得する。また、現場におけるより細分化された活用法を模索するため、年齢別に生活主題に合わせて実際現場で活用し得る教材・教具を開発する。

#### 幼児数学教育

(Mathematics for Early Childhood-Education)

幼児に数学的な思考能力と日常生活での問題解決能力を涵養するための具体的な活動を模索する。

#### 幼児教育機関運営管理

(Management and Supervision of Early Childhood-Education Institutes)

幼児教育機関の運営管理に関する理論的背景と実際に関して、教育現場で効率的な教師役割を遂行できるようにする。

#### 父母教育 (Parents Education)

幼児教育における父母の役割の重要性に関して

理論的に調査し、父母教育の歴史、父母教育プログラムの類型、幼児教育機関での父母教育実施方法等を議論する。

#### モンテッソリー教育

(Studies of Montessori Program)

モンテッソリーの生涯、教育哲学および教育課程を理論的に考察し、実際にモンテッソリー教具を体系的に扱い、幼児教育現場で適用できるように指導する。

#### 器楽 (Music Instruments)

幼児教育機関の教師に必修的な音楽活動および身体表現活動を円滑にするための伴奏法以前の基礎段階として、デジタルピアノ、キーボードの操作法およびピアノの基礎段階を修得する。

#### 幼児文学教育

(Children's Literature in Early Childhood)

幼児文学の概念、歴史的な背景および幼児文学の種類を理解し、幼児達に文学を伝達できる教材の種類およびその教材を活用する文学教育のための教授法を研究する。

#### 幼児創作工芸 (Creative Art in Early Childhood)

幼稚園教育課程の中で創作工芸を統合的に運営できるように、幼児の発達・興味に適合する作業を選定できる能力を伸張させ、指導方法資料の選択・作品の展示等で既存の固定観念を脱皮させることで、望ましい創作工芸を指導できるようにする。

#### 幼児電算プログラム

(Computer Program in Early Childhood)

幼児のためのコンピューター活動の目標、内容および方法を理解し、コンピューター活動の統合的接近方向を模索してすることで、幼児教育のための効果的なコンピューター活動の教授能力を涵養する。

#### 幼児教育現場実習

(Practicum in Early Childhood-Education)

幼児教育機関で計画している教育目標、教育内容、教育方法を研究し、実際に配属された幼児教育機関で授業を参観し、幼児教育全般の行政面・施設等を調べ、幼稚園教師としての能力と資質を身につける。

#### 伴奏法 (Piano Accompaniment)

幼児期の教育で音楽がもつ真正な役割と、その役割を遂行するためのピアノ伴奏を勉強する。

#### リズムおよび身体表現

(Rhythm and Body Expression)

幼児達の動きに関する身体構造を基に、動き・活動の基本的内容から創意的な身体表現に関する理論を学び、加えてそれを実際的な活動に連結できる能力を整える。

#### 幼児遊び (Play in Early Childhood)

遊びの全般的な理論を理解し、幼児に適合する遊び・活動、遊ぶ環境および教師の遊び指導方法を研究する。

#### 乳幼児プログラム (Day Care Growth)

乳幼児保護と教育プログラムに関する理論を成立させ、理論を実際に適用させるための具体的知識を修得開発する。

#### 幼児健康教育

(Health Education for Young Children)

幼児期の身体発達と関連する保健、栄養および衛生学に関する理論を基礎として、幼児関連施設で実践できるような健康教育プログラムを研究する。

#### 保育実習 (Day Care Practicum)

幼児発達と関連し、今までに学んだ理論と実際に関する理論を現場実習を通して増進させ、また、より効果的な現場適用のための方法を研究する。

#### 教育学概論 (Introduction to Education)

この講座は、学生達に将来教師としての専門的

な知識と素養を整えるよう、教育の本質と教育現象を多様な観点から理解させることにその目的がある。教育の基礎、教育の要素、教育の本質、教育学理論、そして教育の課題を具体的に扱い、現教育の問題を学生達の周辺または経験に連結させて探求する。

#### 教育社会学 (Education Sociology)

教育社会学的知识を通して、教育と社会現状に関する幅広い視野をもって教育の問題を積極的に改善していける、実践的な教育者を育成する。

#### 教育哲学および教育史

##### (Educational Philosophy and History)

幼児教師として要求される望ましい教育観を成立するための基礎を修得することを目的とする。そのために、現在のような教育が行われるまでの東西洋の歴史とともに教育思想の変遷と発展過程を調査する。

#### 教科教育論 (Theory of Teaching Subjects)

幼児教育者の資質涵養のため、全般的で専門的な知識修得をその目的とする。そのために、現行教育課程に関する理解を土台にして幼児教育の理論的主流を把握し、適切な環境構成と教材構成を通して効率的な学習活動を学ぶ。

#### 教科教材研究および指導法

##### (Development and Guidance Materials)

幼児に適合する学習単元および学習主題に沿って、各教科を構成する原理を研究し、その原理に合わせて教科を効率的に構成する。

#### 教育心理学 (Educational Psychology)

人間の知的経験過程の理解を講義目標として、知識の構造化や、構造化された知識が新刺激を受けるときにおよぶ影響、また新しい経験が既存知識体系をどのように変化させるか、等々の問題を、学習・発達・性格・適応の四領域に区分して研究する。

#### 教育課程および教育評価

#### (Curriculum and Evaluation)

幼児教育の意味と研究問題に関する科学研究として、発見・陳述方法・研究計画書作成から報告書作成に至る一連の研究手順を論議し、研究類型別特性と具体的な方法を理解し、実際に資料を収集し、収集された資料を処理分析して報告する。

#### 教育実習 (Practicum)

幼児教育理論が実際に望ましく適用できる方案研究として、現場に出て理論や実践を体得し、望ましい幼児教育実践力を身につけ、よりよい教育方向を設定できる教師としての資質を養う。

我が国の幼児教育養成校のカリキュラムと比較していえることは、ひとつに保育内容領域研究を具体的に示す教科目名がないことである。先に述べたように、大韓民国の現行幼稚園教育課程の領域は「健康生活」「社会生活」「表現生活」「言語生活」「探求生活」であるが、たとえば、「健康生活」研究、あるいは「健康生活」指導法」といった、それら領域研究を直接示す教科目名は見あたらない。それに代わって、「幼児美術教育」、「幼児言語教育」、「幼児科学教育」、「幼児音楽教育」、「幼児社会教育」、「幼児数学教育」といった、児童期以降の教育と関連させる形で科目名称、科目概要を提示している。

また、「幼児教育機関管理運営」や「幼児電算プログラム」などは、先の我が国の改訂でも話題となった、幼児職教育関連の教科目、メディア教育に相当するような教科目であり、興味深いところである。

その「幼児電算プログラム」の概要内には、「統合的接近方向」ということばが見られる。この「統合的」とは、1992年に改訂・公布された新幼稚園教育課程のキーワードとして紹介された以下のような文章から、「遊びを中心として教育経験させる方向」という意味かと思われる。

「統合教育とは子どもと環境間の相互作用に因る教育経験が、遊びを中心として成り立つように援助する統合的な指導である。」

なお、選択科目ではあるが、「モンテッソリー

教育」が一教科目として独立しているところも、着目できる点である。

先の訪問時には、ソウル市内の官認第一幼稚園（HANA KINDERGARTEN、ソウル市鐘路区平倉洞）も見学したが、この幼稚園ではモンテッソリー教育を行っており、モンテッソリー教具が充実していた。3階までにゆったりクラスを配置しており、各クラスに年齢に応じたモンテッソリー教具が置かれていた。部屋では各教具のコーナーが作られており、子どもたちは自由に選択して活動している様子であった<sup>3)</sup>。

この第一幼稚園園長の説明によれば、韓国では、モンテッソリー教育を行う幼稚園が多いということであった。大韓民国の就園率は決して高くなく<sup>4)</sup>、教育環境の劣悪な幼稚園施設の改善の問題も抱えているが、一方で、ハイレベルな教育を望む保護者も多く、そのような家庭の子どもたちが通う幼稚園では、モンテッソリー教育に人気がある節が窺える。

## おわりに

本論文は、若干一校の資料であり、大韓民国全体の幼児教育者養成校のカリキュラム全体像が掴めるものではない。

しかし、同じ公立短期大学幼児教育学科の例として、本学幼児教育学科の今後の運営の参考になるものであると思われる。本論文中、不明部分に

については直接仁川専門大学に問い合わせ中であるが、現時点で応答がないため、そのまま記載している。

なお、本論文の翻訳に関しては、韓国民団岡山県地方本部の徐在蘭（ソチョラン）女史に多大な協力を願った。特に、本論文2章と3章の内容に関しては、徐女史の翻訳と筆者の翻訳をつき合わせて、より日本語に分かりやすい形に修正した。

徐女史には、この場を借りてお礼申しあげます。

## 註

- 1) 要覧によれば、学科名は「幼児教育科」となっているが、この文章の部分では、「幼児教育学科」と記載されている。
- 2) 『諸外国における保育の現状と課題』、日本保育学会50周年記念出版、世界文化社、1997年、p.104
- 3) この幼稚園は、ソウル市北部にある鐘路区内の高級住宅地の一角にある幼稚園である。この地区は、大韓民国でも有数の高級住宅街であり、ハイソサエティークラスの子どもたちが通う幼稚園のようである。4～7歳の園児140名が在園しており、全部で7クラスである。保育者は園長を含めて11名で構成している。
- 4) 前出『諸外国における保育の現状と課題』によれば、95年の3、4、5歳児全体の就園率は27.1%である。(p.98)